

実践事例

(環境) 六ツ美北中 3年

環境教育を取り入れた総合的な学習

10月～11月(5時間)

1 はじめに

本校の「総合的な学習の時間」の学習は、学年ごとに年間計画を立て、次の二つの学習を行っている。

テーマ学習 勤労や環境など学年ごとに設定されたテーマに基づき問題解決学習を行う。

イベント学習 学校行事に向けて話し合いをしたり、行事の準備や練習を行ったりするなど、生徒の主体的な学習を行う。

2 実践の概要

3年生では、テーマ学習の一つとして環境学習に取り組んだ。

① 環境家計簿の付け方を知り、二酸化炭素排出量を調べよう

まずは、環境家計簿の書き方を学習した。電気使用量、水道使用量、ガス使用量、ガソリン使用量を各家庭で調べさせ、『市環境プログラム』を参考に作成した環境家計簿に数値を記入し、二酸化炭素排出量を求めさせた。

生徒Aは、「一ヶ月にこれだけの二酸化炭素を排出していると知り驚きました。環境家計簿をつけてみて、電気の使用によって排出される二酸化炭素が多いことを知り、電気の使い過ぎに気をつけて、少しでも温暖化を防ぐことができればいいと思いました」と感想を書いた。

② 友達と比べてみよう 我が家の「二酸化炭素排出量」

最初の環境家計簿を作成したあと1か月程おいて、第2回目の環境家計簿を作成した。ここでは、友達と比較する活動に主眼を置き、「家族一人あたりの二酸化炭素排出量」を求め、隣の席同士二人で比較させた。

③ 「環境家計簿パート③」を作り、エコな家庭に共通することは何か考えよう

3回目の環境家計簿を作成し、グループ内のNo.1を決め、さらにエコ家庭クラスNo.1を決めた。エコ家庭クラスNo.1の数値を見た生徒Aは、「Bさんの家は6人家族なのに、電気を使って出る二酸化炭素排出量がとても少なく、節電しているのかなと思いました。一人あたりの数値も、我が家は高いことが分かったので、節電や節水など心掛けていきたいと思います。」と感想をまとめた。

④ これまでの学習を振り返り、自分にできる、エコアイデアを考えよう

ここまでの学習は、計算や数値の比較が多く、生徒に実感が不足していると感じた。そこで、「二酸化炭素1kg=約45ℓのごみ袋約11袋」を利用して、我が家の二酸化炭素排出量をごみ袋の数で表すようにした。クラス全員で合わせると、一か月で29370袋にもなることが分かった。その後、「これからどうしていきたいか」や「自分にできるエコアイデア」について考えさせた。

3 実践を振り返って

「お風呂には、間を開けずに入る」「使っていない部屋の照明をこまめに切る」。当たり前のエコアイデアかもしれないが、エコアイデアの必要性を自分たちの生活の振り返りから見つけることができたのは意義があると思う。